

アフターコロナ・ウィズコロナにおける地域事業について

1. 地域事業に対する提案

(六本木安全安心プロジェクト ～ルール違反ゼロの六本木へ～)

- ・MINATOフラッグ制度の新たな認証要素として感染予防が加わる可能性があり、六本木安全安心憲章推奨事業所等認証制度においても感染症予防対策の項目を加えることを検討してはどうか。

(AZABU WORLD FESTA)

- ・感染終息後、麻布版「GO TO キャンペーン」として、“GO TO EAT”を開催し、麻布地区の魅力の一つである「食文化」を紹介してはどうか。

(麻布未来写真館 ～次世代へつなぐ麻布の記憶～)

- ・感染終息までは、個人での撮影や研究を深める等、先を見据えた個人中心の行動期間としてはどうか。

(地方交流事業)

- ・人が行き来することは難しいので、物資支援等を積極的に行ってはどうか。

(地域サロン ～ちょこっと立ち寄りカフェ～)

- ・高齢者にタブレットを貸与して、オンラインで実施してはどうか。

(麻布の魅力探訪事業 ～あざぶ達人ラボ～)

- ・感染終息までは、個人での撮影や研究を深める等、先を見据えた個人中心の行動期間としてはどうか。

(全般)

- ・印刷物だけでなく、動画を活用したりすることで、これまでの活動を閲覧できるようにしてはどうか。

2. 今後の地域コミュニティのあり方についての提案

- ・オンラインで地域と結びつくことができる取組、集まらずにつながりができる取組を考えていきたい。
- ・地域交流のオンライン化が進めば、地域の特色が薄れてくる。また、オンラインでコミュニケーションがとれる中では「地域で交流」だけでよいか考える必要がある。麻布でしか体験できない、触れ合うことができない、新しい地域の有り方を醸成し、広めていくのはどうか。